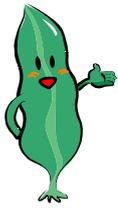


はぼまい 歯舞地区マリンビジョンニュース

Vol.18
2008.10



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

第2回「歯舞こんぶ祭り」 納沙布岬・望郷の岬公園で開催 好天にも恵まれ家族連れや観光客、3,500人で大賑わい！

9月15日（敬老の日）、第2回「歯舞こんぶ祭り」が開催されました。第1回目の経験から、第2回目は、内容をさらに工夫して、女性部、青年部、水産物ブランド化推進協議会、昆布部会の漁業者、市役所など関係団体などの参加のもと、地域が一体となつての開催となりました。

- ◇飲食コーナー：昆布そば、昆布うどん、サケと昆布のかまぼこ、昆布ご飯、タラ三平汁など
- ◇炉端コーナー：ホタテのバター焼き、焼きそば、イカのごろ焼きなど
- ◇物販コーナー：マリンビジョン協議会で発案された「浜の晩酌セット」や各種の昆布商品、昆布醤油など歯舞を代表する商品
- ◇来場者プレゼント：先着300人に「はぼまい昆布八方つゆ」を使った「焼きおにぎり」「ザンギ巻き」を配布
- ◇アトラクション：演歌歌手による歌謡ステージ、お楽しみ抽選会、昆布そば早食い競争、餅まき
- ◇魚とのふれあいコーナー：カレイなどの魚を入れた水槽での魚とのふれあい
- ◇納沙布岬遊覧：漁協の指導船「はぼまい丸」での遊覧航行

「歯舞こんぶ祭り」は、歯舞漁協や地域住民、各関係団体が一体となって地域の活性化、納沙布岬観光の振興、そして歯舞水産物のブランド化に取り組むもので、根室市民にも定着しつつあります。皆で、根室市のイベントの一つとして盛り上げていきましょう！



「餅まき」に大勢の人が



女性部も大活躍



歯舞自慢の味を楽しむ



昆布そば早食い競争



大人気の「魚とのふれあいコーナー」



「はぼまい丸」で納沙布岬遊覧

2年目を迎えた長崎県・上五島町漁協との「漁協人事交流事業」 — 歯舞漁協から本田義春さん（管理部長代理）を派遣 —

歯舞漁協では、マリンビジョンの取組みの一環として、長崎県新上五島町の上五島町漁協との交流を進めています。交流のねらいは、魚種や漁法がまったく異なった環境で研修を受け、新たな視点や問題を発見し、職員の人材育成や人的・物的交流につなげるもので、交流人口の拡大も視野に入れています。

今年、上五島町漁協から増養殖担当の職員を派遣し、今年3月まで漁業振興部長代理として根室市ウニ種苗センターで種苗生産を担当していた本田さんを派遣しました。8月24日に根室を出発し、25日から29日までの5日間、上五島町の現場で研修を行いました。

26日には、定置網漁船に乗り込んで網揚げを行い、ネリゴ（カンパチの幼魚）、アオリイカ、イシダイ、マアジ、カマスなどを水揚げしました。上五島町漁協では、小さな魚までめて鮮度を維持して出荷しています。「北海道では小さな魚までめていない。上五島町漁協では、鮮度を維持して出荷するための漁業者の意識が高いと感じた。上五島町漁協のいいところを少しでも吸収し、漁業者の収入アップや今後の仕事につなげたい」と本田さんは話していました。このほか、冷蔵施設での作業、産地直送用の鮮魚の取扱い、水産加工品の製造、アワビ種苗センターでの研修を行いました。

歯舞漁協では、今後も人事交流を進め、双方の物販を通じた交流も続けていくなど連携を強化し、漁業の振興につなげていく予定です。



定置網を揚げる本田さん



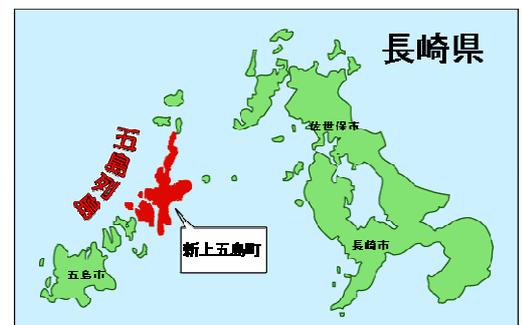
アワビ種苗センターで研修中の本田さん

歯舞漁協と上五島町漁協の交流の経緯

上五島町漁協は、近年の水揚げの減少から新しい事業展開を模索している中で、10年ほど前から購買部で歯舞産の「棹前昆布」「根昆布」を取り扱ってきました。これを縁に、上五島町漁協からの提案で交流事業がスタートしました。

新上五島町

上五島町漁協は、九州の西端、長崎県・五島列島の新上五島町にあります。新上五島町は、7つの有人島と60の無人島からなる風光明媚な町です。人口は約2万4千人で、本土とはフェリーで結ばれています。



編集・発行・お問い合わせ

編集・発行

歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

お問い合わせ

事務局 担当：根室市水産経済部水産港湾課水産振興担当

電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

